

授業科目	地域作業療法学	3 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	池田 望 (保健医療学研究棟 E514 号) e-mail : ikedan@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	坂上真理、中島そのみ、森元隆文、横山和樹、(片岡千恵)		
概要	地域リハビリテーションについての定義・現状・課題などを明確にする。現在、作業療法が対象とする領域は、医療機関から地域へと広がっている。障害者や高齢者に対応する社会資源の知識を習得し、医療施設からの継続した生活リハを実践させる地域包括ケアシステムにおける作業療法の役割、他職種との地域連携への展開方法を学ぶ。介護保険や障害者総合支援法などの社会制度、フォーマルなサービス・インフォーマルなサポートについて理解し、高齢者・障害者(児)の継続した在宅生活の支援策を立案できる。また、バリアフリーについて学び、実際に自らフィールド調査を行うことで、社会参加につなげるための環境整備における課題と解決策を考える。認知症をもつ人が地域で安全に生活するために必要な家族や地域住民に向けての啓発の方法を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・保健・福祉の連携について説明ができる。 2. 現況の医療・福祉制度などの社会制度の概要が説明できる。 3. フォーマルなサービス、インフォーマルなサポートについて説明できる。 4. 障害者や高齢者を含めた誰もが暮らしやすい環境整備について提案できる。 5. 実際にフィールド調査を行い、現状でのバリアフリー環境が抱える課題を説明できる。 6. 認知症を理解し、認知症をもつ人やその家族が継続的に地域で暮らすための支援ができる。 		
関連科目	身体障害作業療法学、精神障害作業療法学、高齢期作業療法学、発達障害作業療法学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	70%	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物：提出状況と記載内容 ・学習態度：グループ学習への参加状況
	提出物	20%	
	学習態度	10%	
教科書	指定なし		
参考書	①長崎重信・監修 [2016] 「作業療法ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法学」 メジカルビュー社		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題について早めに調査を開始し、授業で発表できるように事前の準備をしておく。 ・下記スケジュールはグループ学習の進捗状況等によって変更(学習内容等)する場合がある 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	地域リハビリテーション総論 ・地域リハビリテーション/地域作業療法の基本的な考え方 ・自分たちの住んでいる地域の理解	事前：関連資料の確認 事後：配布資料を復習	講義	横山
2	地域作業療法と多職種・当事者連携 ・フォーマルサポート/インフォーマルサービスの理解 ・地域リハビリテーションにおける多職種・当事者との連携	事前：地域包括ケアシステムの復習 事後：配布資料の復習	〃	〃
3	介護保険(1) ・介護保険の成り立ち ・障害高齢者、認知症高齢者の日常生活自立度との関係	事前：関連資料の確認 事後：介護保険の成り立ちの復習	〃	坂上
4	介護保険(2) ・申請から実施までの流れ ・サービス内容	事前：関連資料の確認 事後：介護保険の成り立ちの復習	〃	〃
5	地域リハの実際(1) ・地域包括支援センターの機能と役割	事前：介護保険の復習 事後：配布資料の復習	〃	(片岡)

6	地域リハの実際(2) ・発達障害児・者に対する地域リハビリテーション	事後：配布資料の復習	〃	中島
7	地域リハの実際(3) ・精神障害者に対する地域リハビリテーション	事後：配布資料の復習	〃	森元
8	障害者総合支援法(1) ・障害者総合支援法の成り立ち ・作業療法士による実践と多職種連携	事前：障害者関連の制度についての予習 事後：配布資料の復習	〃	横山
9	障害者総合支援法(2) ・申請から実施までの流れ ・サービス内容	事前：障害者関連サービスについての予習 事後：配布資料の復習	〃	〃
10	その他の社会制度 ・障害年金・障害手帳・医療費制度・成年後見制度など	事前：関連資料の確認 事後：配布資料を復習	〃	〃
11	地域での生活と環境 ・社会参加とバリアフリー ・アクセシブルデザイン/ユニバーサルデザイン	事前：生活環境におけるバリアフリーの探索 事後：配布資料を復習	〃	〃
12	身近な生活環境の理解(1) ・地域フィールド調査の企画	事前：社会参加とバリアフリーの資料の復習 事後：地域フィールド調査の企画のまとめ	演習	〃
13	認知症の理解 ・認知症サポーター養成の実際	事前：認知症についての予習	〃	(片岡)
14	身近な生活環境の理解(2) ・地域フィールド調査の発表(1)	事前：発表準備	〃	横山
15	身近な生活環境の理解(3) ・地域フィールド調査の発表(2)	事前：発表準備 事後：地域フィールドの考察	〃	〃